

令和6年2月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,926	9,269	4,683	4,586	△ 14	△ 6
2 千 石	4,165	6,909	3,462	3,447	4	22
3 内 山	5,766	7,984	4,284	3,700	31	36
4 大 和	3,603	6,648	3,294	3,354	△ 10	△ 18
5 上 野	7,503	15,393	7,530	7,863	△ 9	△ 23
6 高 見	7,403	13,281	6,338	6,943	21	32
7 春 岡	7,056	11,016	5,827	5,189	1	△ 8
8 田 代	11,376	21,940	10,486	11,454	19	30
9 東 山	10,326	19,019	9,282	9,737	△ 15	△ 9
10 見 付	4,522	8,369	4,213	4,156	△ 27	△ 55
11 星 ケ 丘	3,589	6,831	3,034	3,797	3	4
12 自 由 ケ 丘	3,547	7,157	3,258	3,899	△ 7	△ 22
13 富 士 見 台	6,512	15,091	6,855	8,236	△ 1	3
14 宮 根	3,806	7,987	3,706	4,281	△ 6	△ 22
15 千 代 田 橋	3,757	8,214	3,868	4,346	12	4
千 種 区 計	88,857	165,108	80,120	84,988	2	△ 32
R5. 2. 1	87,727	164,845	80,022	84,823	△ 75	△ 111
対 前 年 比	1130	263	98	165	77	79
名 古 屋 市	1,159,296	2,326,518	1,141,975	1,184,543	73	△ 804
愛 知 県 (R6. 1. 1)	3,334,007	7,478,574	3,723,962	3,754,612	324	△ 2,758

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	77	172	△ 95	846	783	63

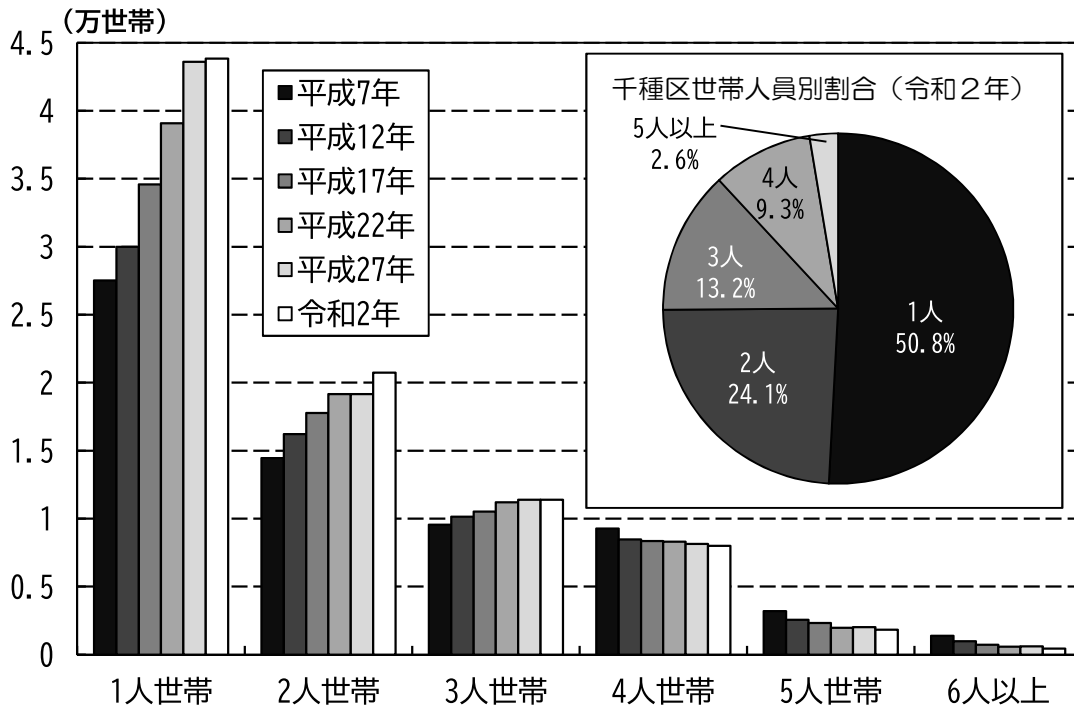
【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015		
平成7年	148,847	平成27年	164,696	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の世帯人員別一般世帯数の割合

今回は平成7年から令和2年国勢調査結果に基づいて、世帯人員別の世帯数と単身世帯数の割合をみていきます。



まず、千種区の令和2年10月現在の一般世帯の世帯数を世帯人員別にみます。(図1) 1人世帯(単身世帯)が約半数の43,832世帯(50.8%)と最も多く、次いで2人世帯の20,736世帯(24.1%)、3人世帯の11,378世帯(13.2%)となっています。時系列でみると、2人世帯以下が増加、3人世帯が微増、4人世帯以上が減少傾向となっています。

図1 千種区の世帯人員別一般世帯数の推移 (各年10月1日現在)

次に令和2年10月現在における学区別の一般世帯数に占める単身世帯数の割合をみます。(図2) 内山学区が75.0%と最も単身世帯割合が高く、ついで千種学区67.1%、春岡学区66.2%と続きます。

さらに一般世帯数に占める65歳以上の単身世帯数の割合をみてみますと、自由ヶ丘学区が20.2%と65歳以上の単身世帯割合が最も高く、ついで、富士見台学区16.6%、宮根学区16.13%と続きます。一般世帯のおよそ5世帯のうち、1世帯が65歳以上の単身世帯であることを示します。

これを単身世帯数に占める65歳以上の単身世帯数の割合に限ってみますと、富士見台学区が58.4%と最も割合が高く、ついで自由ヶ丘学区48.6%、千代田橋学区48.0%と続きます。これは、単身世帯のおおよそ半分が65歳以上の単身世帯であることを示します。

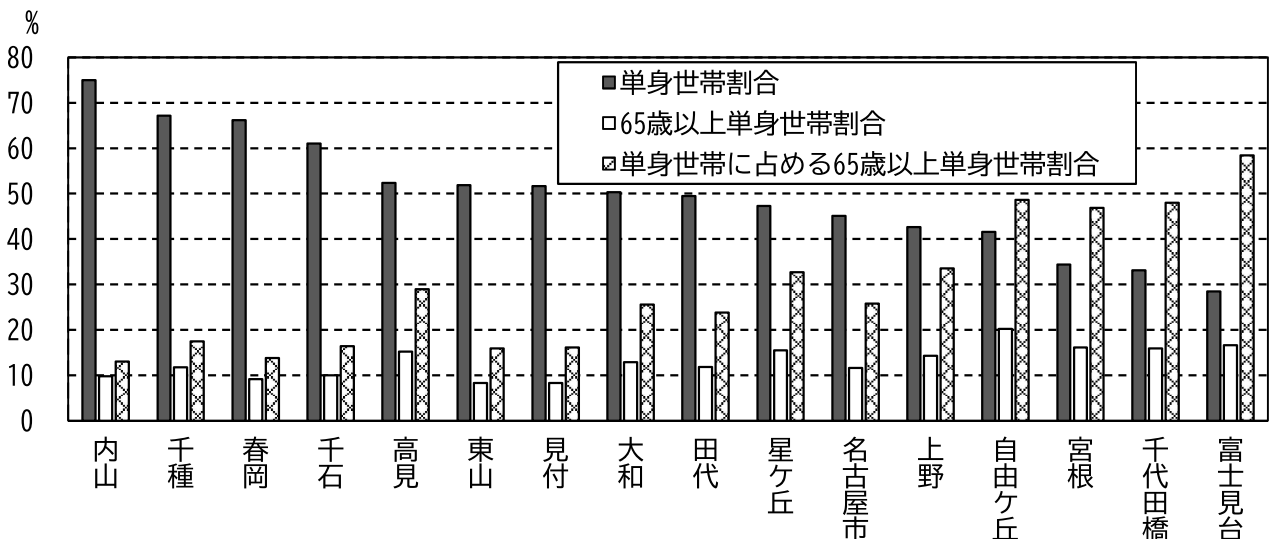


図2 学区別単身世帯割合と65歳以上の単身世帯割合の状況